

再生・細胞医療の産業化拠点

ライフイノベーションセンター



次世代の医療として大きな成長が期待される再生・細胞医療の産業化に向けて、「ライフイノベーションセンター(LIC)」が稼動しています。センターが位置する川崎市殿町地区は、最先端のライフサイエンス産業・研究機関が集積する地。センターではこうした集積も活かして、研究開発から事業化への取組みを加速化させ、再生・細胞医療の有望なシーズの実用化・産業化を目指していきます。

◆ 再生・細胞医療の産業化拠点として、事業化を支援

- 研究開発から品質管理、出荷まで再生・細胞医療の実用化・産業化に向けた、ワンストップ体制のフィールドを提供することで、ベンチャー企業の研究開発も支援。
- 国内外からの細胞の受託生産を行う事業者、再生医療等製品の早期薬事承認制度などを活用して市場化を目指す事業者、それを支える培地や機器・サービスといった周辺産業を担う事業者など、皆様の幅広いニーズに対し、神奈川県を中心に国内外の関係機関と強く連携したプラットフォームを構築。国家戦略特区なども活用して、効果的な支援を提供。

KSP バイオテックラボ

ビジネスインキュベーションで 30 年の実績を誇る(株)ケイエスピーが企業の成長を支援します。

オープンラボ

低廉な利用料で測定機器等を利用することが可能。また、入居事業者が提供するオープンラボも設置。

ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド

ヘルスケア分野を対象とした県主導のファンドによりイノベーションを生み出すベンチャー企業を創出・育成。(平成 30 年 3 月組成)



◆ 抜群の交通アクセスが、国内・海外での事業展開を後押し

- センターが位置する川崎市殿町地区は、羽田空港に隣接し、東海道新幹線や首都高速にも至近の好アクセス。国内はもとより、海外での事業展開を見据えた、絶好の成長戦略拠点として機能。
- 殿町～羽田間を結ぶ、羽田連絡道路(連絡橋)が 2020 年の開通を目指して建設中。連絡道路の完成により、羽田空港までの距離は約 800 メートルに。

